

## 和田山町で採集された カトウツケオグモ

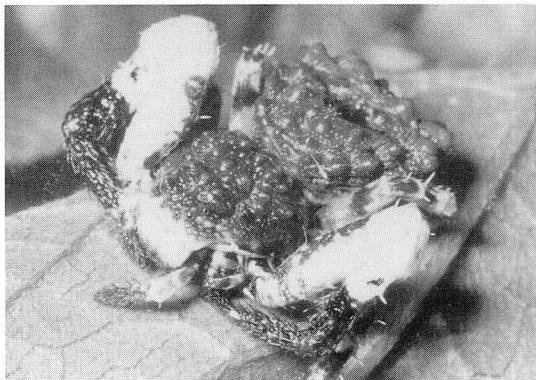
山本 一幸

全国的にも採集例が少ない、カニグモ科の珍種カトウツケオグモ *Phrynarachne katoii* が朝来郡和田山町で採集されたので、ここに報告する。但馬における記録として2例目にあたり（本庄・山本，1990），1976年4月2日に美方郡浜坂町久斗山で幼生が採集（山本，1977）されてから、実に22年ぶりである。

1♀，兵庫県朝来郡和田山町秋葉台4区，1998-IV-2，稲津和之採集

採集した稲津氏によれば，午後2時ごろ，自宅近くの雑木林の遊歩道を散策中にオトコエシの花の上で脚を縮めてじっとしているところを発見，その姿は鳥の糞のようであったとのことである。

筆者のもとに生きたまま郵送していただき，しばらく飼育を試みた。縦18cm，横13cm，高さ15cmの水槽内にイノコズチとイタドリの葉と茎を小ピンにさして足場を作り，クモを入れて行動を観察した。その結果，日中は葉の上などに足を縮めてじっとしている（写真）が，夜間になると植物の上や水槽の壁面などを徘徊する。その行動は，敏捷性に乏しく，餌として小型のガをピンセットでつまんでクモに近づけると，1・2脚を左右に広げて威嚇するようなポーズをするが，さらに接近させると後退し，葉裏などに身を隠して，積極的にガを捕らえようとすることはなかった。水槽内に小型のガを絶えず3個体ほど放っておいたが，捕食した形跡はなかった。約2週間飼育を継続したが，



葉の上でじっとしているカトウツケオグモ

その間に水分の補給だけで捕食は観察されず，腹部の萎縮などが認められたので標本にして観察を終了した。

未筆ながら，成熟した本種の行動を観察する機会を与えて下さった稲津和之氏に，この場をお借りして心から感謝を申し上げます。

### 参考文献

八木沼健夫（1986）原色日本クモ類図鑑。保育社，大阪。  
本庄四郎・山本一幸（1990）但馬のクモ類目録，

IRATSUME13・14：1-33.

山本一幸（1977）浜坂産真正蜘蛛類について，  
*Aculeatus*10:5-10.

## 来日岳のコルリクワガタ追加記録

谷角 素彦

1998年は暖冬の影響で季節の進行が早く，春にその傾向が顕著であった。大阪府茨木市でモンシロチョウを2月27日に目撃したことなどは，その好例である。この現象は，但馬地方でも同様であった。4月16日，ギフチョウを求めて城崎町の大師山～来日岳に出かけたが，スプリングエフェメラルの季節はすでに終了しており，図らずも活動中のコルリクワガタ *Platycerus acuticollis* を採集した。なお，当地において本種は，永幡（1993）により1♀が記録されているが，追加例として報告しておく。

1♂，兵庫県城崎郡城崎町来日岳（標高550m付近），1998-IV-16，筆者採集

来日岳の山頂に生育しているブナは，新芽の状態を過ぎて若葉を伸ばしていた。青空を背景に，ブナなどの若葉に飛来するコルリクワガタの姿が確認できた。長竿を持っていた同行の田花雅一氏は本種を10頭以上採集しているが，いずれも♂であった。

### 参考文献

永幡嘉之（1993）来日岳でコルリクワガタを採集，  
IRATSUME17：78.